

葛西玄涛先生選評

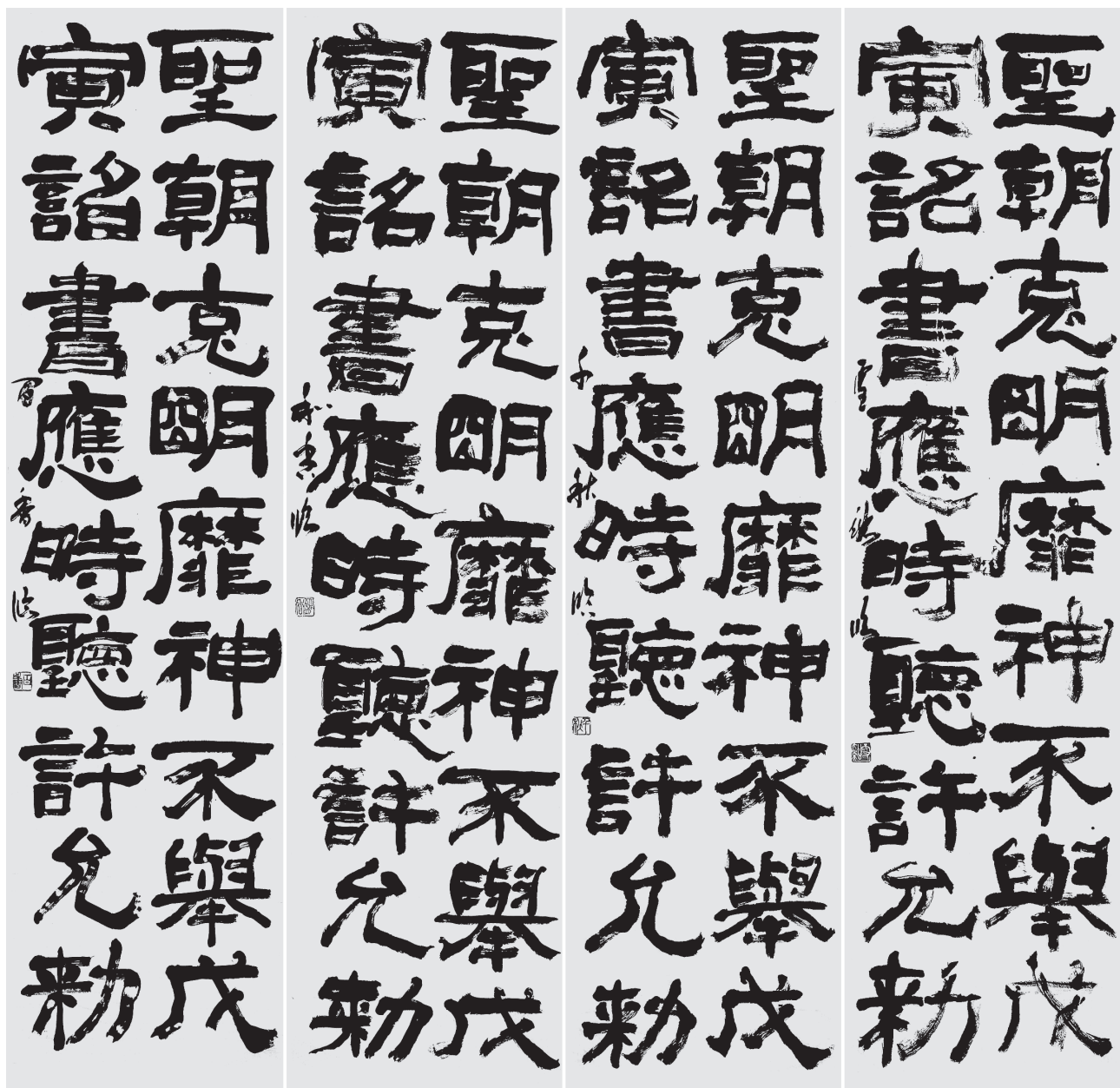


塩谷英風 推選
しつとりとした穏やかな線が、作品全体を静寂とした。夫を亡くした悲しみの句を察しての表現は、詩文書作品の真骨頂。原点に戻ることを示唆してくれています。

栗林和江 推選
筆運びの変化を激しくして、多種多様の線が描かれた。速度、方向、圧力など物理的な変化を自然な柔らかな動きから創り出して、高度な技術の結晶となっています。

山口幽径 推選
淡墨の和らいだ気の中に強い線が適度に混ざり、安定した美となった。細線でも強さを発揮したのは、大きな動きでも筆の角度を一定に保ち、直筆となったから。

前馬陽代 推選
明るく楽しい作品。文字の歪みと大小、多種の渴筆の配置などで変化を巧く集結して、心躍らす音楽が聞こえてくる感すらあります。この「雪」の表情が素敵です。



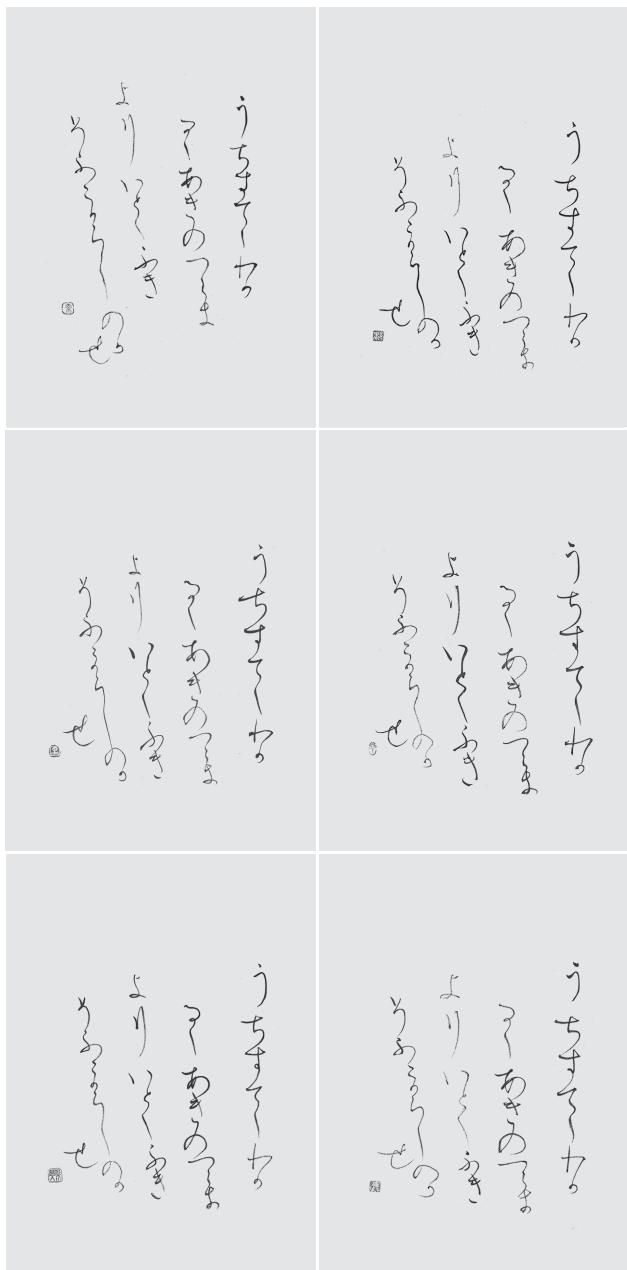
富山 雪 谿 推選
何と言っても深くゆったりと書いた渴筆の妙ですね。「克」でもこの様な渴筆が。最後はもう少し墨入れたかったか。とにかく線が生き生きとして明るい作です。

十二 千 秋 推選
横画藏鋒の起筆、筆圧と角度の変化が欲しかったが、呼吸が長く、慌てず急がず落ち着いた線が魅力です。潤渴の渴がもう少し欲しかった。

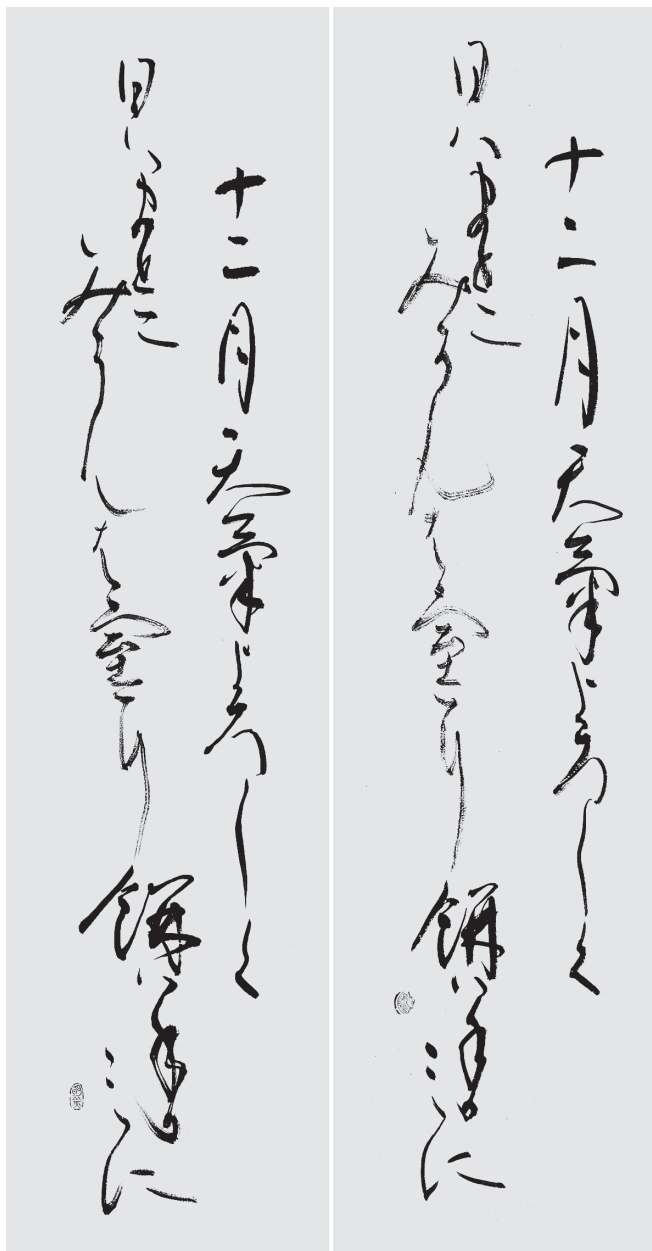
井 上 和 香 推選
筆圧の軽重、遅速の変化が良く、線の種類も豊富で表情豊かで見事な作品です。お名前、字間をもう少し離したかった。「寅」字一考でしようか？

大 竹 百 香 推選
いい筆をお遣いの様で渴筆が明るく美しい。息が長く深い線が魅力です。波磔ですが、筆が柔らかいので穂先を良く見て大きな動きで収めたかったか。

露崎桂子先生選評



吉澤真理先生選評



関口奈緒乃 七段
引き締まった筆線でリズム良く書かれ、繊細で強い線の特徴をよく捉えています。少し変化のあるちらしは魅力的ですが「せ」の位置に一考を。

小早川里香 準七
スピード感のある運筆で特に四行目の長い連綿は見事です。軽やかで良いのですが、三行目と揃ってしまい残念です。次の作に期待します。

鳥海葉翠 準七
流麗で淀みない美しさがあり、実に伸びやかに運筆されています。墨色も良く目に留まりました。印がやや小さいと更に作品が引き立ちます。

半田都志 師範
寸松庵風に纏めたお手本のちらしを良く捉え、難しい微妙な行間の変化の確です。墨色の変化も美しい。やや自由奔放さが加わると更に佳に。

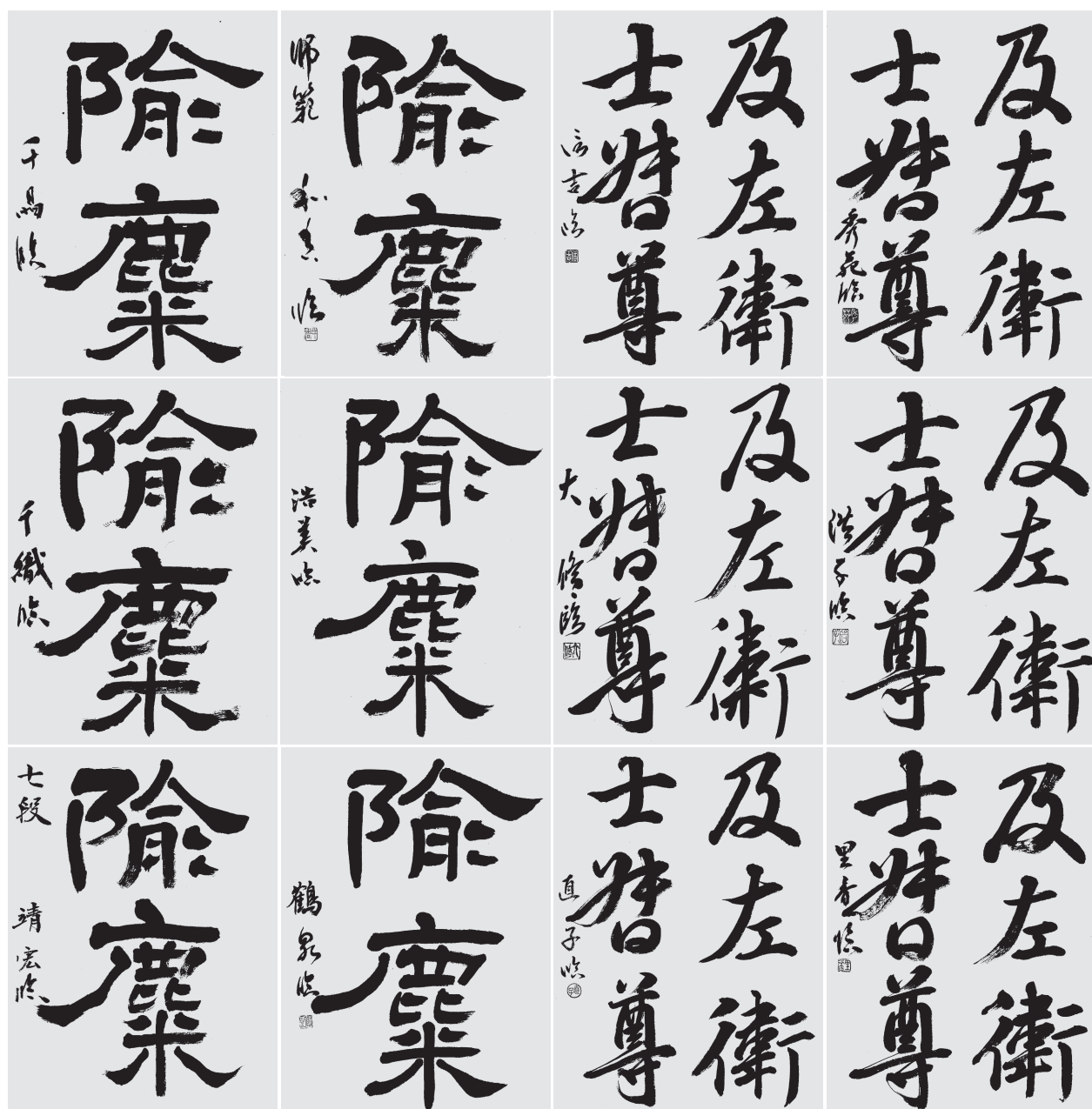
枝長真美 師範
伸びやかで大胆な運筆で、原帖の美しい線を生み出している細い線の中にある変化も表現しています。やや全体的に大きくなり、惜しい。

吉田裕子 準師
細い線と思いがちな原帖の細太の変化もよく捉えていて、学びの深さが窺えます。勢いのある運筆ですが、若干、字形を引き締めると更に佳に。

平川明美 推選
落ち着きのある確かな筆致。気脈の通った筆線が生き生きと躍動しています。繋がる文字のリズム心地良く冴えた線条が爽快です。

大友麻美 推選
確かな骨格をもった字形は美しく渴筆部の筆遣いは爽やかな清流を見るようです。やや小粒ながら筆力充実し凛とした雰囲気を出している。

加藤有鄰先生選評



安藤秀範 師範
高い落筆からの運筆が見事で、爽やかで軽快な深みある線質で表現しており、風信帖をよく醸し出しています。

桜井信吉 八段
運腕が大きく、流麗で形体が美しい。伸びやかで温かな筆致を用いて運筆のリズム宜しく、温雅とした表現をしています。

井上和香 師範
威風堂々としており、曹全碑のもつ柔らかな温かな表情の中で力強く運筆され漢代の息吹を感じます。長い修練の深さが窺えます。

村上千晶 準師
形体が確実で波法が美しい。温かくも直線的な筆致をうまく取り入れ、遠勢が効いており、大きく堂々たる作品となりました。

鈴木浩子 師範
柔らかな筆の握りを用い、構え大きく確りと紙面を捉えて、空海の豊かな流麗さを見事に表現されています。

瓜生大修 準三
筆先の扱いが見事で繊細さと大胆さ、伸びやかさが心地良く表現されており、安定している。墨量を豊かにすると更に向上しよう。

渡部浩美 師範
運腕が大きく、流麗で形体が美しいです。伸びやかで温かな運筆のリズム宜しく、温雅とした表現をしています。

大井千織 準八
横画の起筆の角度が安定しており、良く隷書の筆法を心得ています。ゆつくりと運筆され重厚さを増した表現もよろしい。

小早川里香 準師
導かれる線の大胆さと明るさをもつて、深く豊かな線質を醸し、作品を表現しております。この運筆力はあなただけの宝物です。

小部直子 準二
確実に丁寧な運筆され、リズムミカルに伸びやかで強い表現を見せています。形体も安定しており、適度な緊張感が作品全体を効果的に引き締めています。

神田鶴泉 準師
起筆から運筆への筆の返しが自然で柔らかな巧みである。隷書を良くマスターされています。形体も安定しており充実した臨書作である。

東 靖宏 七段
大胆であり、立体感豊かな表現である。確実な起筆と運筆にも感心します。形体が整然として品格があり、原帖の雰囲気をも十分に醸しています。